被災屯所の復旧は
早期の完成を目指す

丹野 紀雄
（翔 英 会）

質問　被災した消防屯所の復旧状況はどのようになっているのか。

答弁　被災した16屯所のうち、9棟が再建済みで、本年10月末にも1棟が完成するが、被災の大きかった高田地区と今泉地区の再建については、高台造成に併せて早期の建設に努める。

民間開発団地の水利は

質問　民間事業者によって開発された、高台の住宅団地での消防水利の不備を感じるがどのように考えているか。

答弁　民間開発での一定規模の面積の団地では、都市計画法の規定により、事業者に消防水利の整備の義務があるが、規模に満たない場合は規定がない。消防署としては、地域の状況把握に努め、水利の不足する地区が無いようにしていく。

質問　民間開発の住宅団地への消火栓や防火水槽設置の義務化はできないか。

答弁　消防法において、必要な消防水利は、当該市町村が設置するとされており、義務化は難しいが、消火活動に支障の無いよう、消火水利の確保に努めていく。

河川改修の見通しは

質問　川原川改修では、危険とされる雨量への備えはどのようになっているのか。

答弁　30年に一度の大雨を想定し、川原川に流れ込む流域面積からの流量を計算し、それに対応する河川断面を確保して整備を行っている。

質問　小泉川の改修工事の内容と見通しはどうか。

答弁　河川幅は、現在河川断面を検討していて、国県と協議している。

地域と相談しながら、高台住宅造成に併せて改修していきたい。

震災後、初の高田分団屯所

質問　心配される来年度の国保税の見通しはどうか。

答弁　岩手県一元化による試算で、本市の標準保険料は

大坪 涼子
（日本共産党）

被災地の国保税、負担は
過重負担は避けるべき

要因だが、土地売買や通院等の被災地の特殊な実情がある。

質問　国県への働きかけはどうか。

住民負担緩和に努める。

在宅療養に支援を

質問　本市の在宅療養の取り組みはどうか。

答弁　医療、介護の関係者によって結成された「チームけせんの和」の活動により、より細やかな対応が進み利用者の安心感につながっている。

質問　介護職員不足への対策はどうか。

答弁　市として職員研修支援や修学資金貸付制度導入を検討している。

県立高田病院への道路整備を

質問　新・高田病院の概要はどうか。

答弁　1階は外来、2階は入院が中心となり、病床60床は確保された。

県立高田病院完成予想図

1人当り約4万3千円増、県内最高14万5千円となった。あくまで仮想の数字であり、11月頃に試算結果が公表される。

質問　被災地なのに、なぜ高くなるのか。

答弁　基本的に所得も医療費も本市は県内で高いことが

答弁　県は、被災地の実情を考慮し、激変緩和措置等の見解が示されている。

質問　国保税そのものを上げないようにできないのか。

答弁　被災地で過重負担は避けるべきである。

国県への要請とともに国保財政調整基金の活用も視野に

質問　開院までの道路整備は間に合うのか。

答弁　東側は市道小泉線から、西側はシンボルロードの暫定的な使用となる。

質問　隣接の保健福祉総合センターとの間に段差があり不便ではないか。

答弁　高低差がないような配慮はしている。

保育体制の改善を

質問　保育士不足の対策として、補助員の配置や、実習生への働きかけはどうか。

答弁　補助員を入れることも考えたい。また、就学資金の援助を検討している。

蒲生　哲
（新　志　会）

環境問題と対策は
被害の拡大防止に努める

質問　水産関係において「磯焼け」状態が確認されている。影響や対策等について、当局の見解はどうか。

答弁　環境や生態系に配慮した方策を現在も実施しているところであり、その影響は最小限に抑えられている。

質問　復興工事による自然環境への影響について、調査の必要はどうか。

答弁　保護すべき動植物の回避や低減（濁水防止・騒音振動抑制）、移植などの代償措置を行うこととしており、生態系や自然環境へは、一定の配慮がなされている。

質問　「マツ枯れ」「ナラ枯れ」の対策はどうか。

答弁　国県の補助金を受けて、被害木の伐倒駆除等を行っているが、より効果的な被害拡大防止に努める。

質問　有害鳥獣の生息状況と農作物への影響が懸念されているが、現状と対策はどうか。

答弁　農作物への影響は、平成28年度の調査によると、被害面積23ヘクタール、被害額525万9千円ほどとなっている。ニホンジカの駆除については、鳥獣被害対策実施隊が中心になり捕獲活動を行っている。鳥獣被害対策実施隊員は高田猟友会からの推薦により委嘱をしている。

道路環境と住環境は

質問　市営住宅等の管理業務を指定管理者に委託し、管理を行っているが、これまでどのような課題があったか。

答弁　指定管理者制度導入の効果が発揮されていると感じており、大きな課題等は無いものと認識している。

環境が変わる高田松原